

～第3回スキルアップ教室～

10月26日(金) in 大山子ども教室

『第3回スキルアップ教室』を大玉村「大山子ども教室」(大山公民館)で実施しました。大玉村ではALTを子ども教室に招いて、「英語遊び」を実施しています。そこで、ALTを子ども教室に招いた経緯や手続き、コーディネートの仕方などを話してもらい、さらには活動の実際を参観してきました。

事例発表『ALTと子ども教室』コーディネーター：渡辺ひとみさん

- 大玉村では、コミュニティスクールの一環として、放課後における子どもの安心できる居場所づくりに努めている。
- 平成21年度から「英語で遊ぼう」のプログラムをALTを招いて実施している。
- 大玉村のALTは、中学校の教頭先生が窓口になっている。子ども教室での企画を相談し、日程の調整を行った。その後教育委員会で派遣依頼の手続きを行った。
- ALTとは今回の活動のために2回打ち合わせを行った。1回目は、活動の大きな流れや準備物を確認した。ハロウィンや秋にちなんだ話をしてもらうこと、本物のかぼちゃの飾りを作ってきてもらうこと、画用紙等はどんなものを使うかなど。2回目は、事務局で準備したカードを見てもらい、アドバイスをいただいた。またAV機器の確認を行った。
- 子どもたちは「英語遊び」の活動をとっても楽しみにしている。



活動参観「英語で遊ぼう」ALT ベンジャミン・バラндаウ先生



ハロウィンや秋にちなんだ映像を見せながら話をしてくれました。世界各地のハロウィンの様子を見て、子どもたちは興味津津！時折英語を交え、簡単な英語の表現を練習しました。最後にハロウィンのお面作りに取り組み、先生と会話しながら楽しい作品を作り上げました。

【参加者から】

- ・とても楽しい英語活動だった。子どもたちがノリノリだった。
- ・英語を楽しんでいる子どもたちはとても生き生きしていた。
- ・充実した教室運営であると感じた。担当者の熱意の表れかと思った。



コーディネーターの発表から、ALTを招く手続きやコーディネートの内容などがわかりただけだと思います。ぜひ参考にさせていただき、今後のメニュー作りに役立ててほしいと思います。子どもたちの生き生きと活動する姿から、大玉村の子ども教室の充実ぶりが実感できました。大玉村子ども教室関係者のみなさん、研修に御協力いただきありがとうございました。